

授業科目 公衆衛生看護活動論 II

【担当教員名】 宇田 優子、杉本 洋		対象学年	3	対象学科	看護	
		開講時期	前期	必修選択	必修	
		単位数	1	時間数	15	
【カリキュラムポリシーとの関連性】						
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現		
○	○	○	○	○		
【概要・一般目標：G10】 地域で生活する人々の健康を保持増進、改善するために必要な支援技術である保健指導について理解する。						
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 公衆衛生看護活動における保健指導の位置づけと目的を説明する。 2. 保健指導を実践するために必要な理論を説明する。 3. 個人や家族、集団に対する保健指導の方法を知る。 4. 住民が主体的に健康を保持増進する活動を支援する方法を知る。						
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	保健指導の目的、対象、特徴				講義、担当：宇田 優子 他	
2	保健指導に活用できる理論				講義	
3、4	個人に対する保健指導（家庭訪問、健康相談）の展開（1）～（2）				講義	
5、6	集団に対する保健指導の展開（健康教育）				講義	
7、8	地域組織活動の支援方法を知る（1）～（2）				講義、担当：宇田 優子 他	
【使用図書】						
<書名>		<著者名>			<発行所>	
教科書 (必ず購入する書籍)		未定				
参考書						
その他の資料						
【評価方法】 出席 20% 筆記試験又はレポート 80%			【履修上の留意点】			